

りんご園地雪害対策事業



2月26日、農業振興課はりんご園雪害対策事業として、昨年購入したドローンによる融雪剤の空中散布を行いました。ドローンを使うことで、短時間で融雪剤を散布することができ、省力化にもつながります。作業を頼んだ水木在家地区の田中たけ子さんは「大雪で畑に出向けない日があった。早めにりんごの樹の状態を見に行きたい。この事業は大変助かります」と感謝を述べました。県の「令和7年度りんご雪害軽減事業」を利用した取組みで、JAが申込受付を行いました。スカイテックさんと協力し、約105ヘクタールを3月上旬までにすべての散布を終了しました。



2月上旬で管内平均149cmの積雪量でした

QOL健診で健康意識向上



3月5日、長慶閣に女性部員ら14名集めてQOL健診が行われました。健診では、血圧、体組織、握力など聞き慣れたものから、推定野菜摂取量（ベジチェック）などの測定を行いました。唾液検査による歯周病チェック、骨密度測定、内臓脂肪測定まで調べることができるとともに、立ち上がりの検査や運動器の移動機能など調べました。2年連続健診を受けた昂地区の上田賀壽子さんは「友人に紹介されて参加しました。簡単なストレッチも学んだので、これから続けて行けそうでした。これからも一緒に健診を受けた友人と顔を見合わせてニコニコしていました。」



QOL健診で健康を再確認!!

わい化研究会総会開催



3月11日、相馬村わい化栽培技術研究会は第43回総会を開催しました。会員19名が出席し、令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）など全議案を可決しました。柴田康平会長は「近年の温暖化の影響で異常気象が当たり前になり、大雪や夏の高温、長雨、強風被害、鳥獣被害と様々な問題があり、りんご栽培がますます難しい時代となりますが、当研究会では研修会を通じて、高品質なりんごの安定生産を目指して行きたい」と話しました。夕方青空教室、夏期視察研修、剪定セミナーなどの研修会で技術向上と新たな情報の共有を進めてまいりますので、積極的な事業参加を呼びかけました。



積極的な研修会へ参加を声かけた

「林檎の森」感謝祭



3月20日から22日までの3日間「林檎の森感謝祭」イベントを開催しました。春彼岸の花や団子、さらにお買い上げ金額の5%引きなどのイベントに多くのお客様がご来店いただきました。1000円以上お買い上げの方には、卵とパック牛乳を先着100名様にはプレゼントする企画があり、1時間半ほどで配布が終了しました。500円以上お買い上げのお客様にはくじ引きを実施し「青森県産米パックご飯3銘柄セット×6ケ入り」が当たった平川市の葛西さんは「物価や米の価格が高い時にこの景品はとても有難いです。これからも利用します」と喜びの言葉をいただきました。終始賑やかな雰囲気でした。



お彼岸のお花買いに来て野菜セットが当たりました🌟



再生できるりんご樹は  
この木柱で回復して欲しい…



りんご樹再生のために…



3月18日、育苗センター敷地内で購買課は、予約注文を受けたたりんご樹再生のための丸太（木柱）を搬入しました。2年連続の大雪でりんご減収防止対策として行われた試みです。届いた木柱を見て大場勉強組合長は「雪解けが進むと枝折れや幹折れなどの被害がはつきり見えてくる。この木柱で再生できるりんご樹は少しでも回復に努めてもらいたい」と話しました。

3月24、25日の2日間で予約頂いた丸太木柱の引渡しが行われました。引取りに訪れた坂市地区の田中清一さんは「今年の大雪で、1週間以上雪下ろしに行きたくても畑へ行けなかった。雪解けが進むにつれてりんごの樹が10本以上折れたり欠けたりしているのが見えて愕然とした。この木柱で補修してりんごの収量を維持していきたい」と話してくれた。2日間で約3000本の引取があり、木柱の在庫がある限り、まだ注文は受けています。



田澤女性部長より  
賞状を受け取る

3月24日、相馬小学校において「農業ふれあい教室」かべ新聞コンクールの表彰式が行われました。相馬小学校の3年生9名は、1年間を通じて取り組んだりんご学習についての感想文とりんごかるたを作成し、コンクールに応募しました。その結果「優秀賞」を受賞し、田澤真由美女性部長から表彰状と記念メダル、さらに副賞としてはかわたり2キロが生徒一人一人に贈呈されました。立派な額縁に入った表彰状を受け取った大場聖城くんは「りんご学習もかべ新聞も頑張つて良かったです。この学習は楽しかったです」と感想を述べてくれました。表彰式は終始笑顔に包まれ、今年度の農業ふれあい教室は無事に終了しました。

りんご学習贈呈式



肥料の引取に訪れた会員

3月30日と31日に、飛馬共防会員による肥料の受け取りが湯口支所グリーンプラザ前で行われ、47名の会員が予約した肥料を受け取るために訪れていました。消雪が進んでいる園地が多く、開花前に肥料散布を終わらせようとしている会員もいました。

引取に訪れた会員たちは「今年のはたぐさんの雪が積もったが、雪解けが早い。まだ畑の小屋に行けない場所もあるが、肥料の準備が始まるといよいよ農作業が本格化する気がする」と、これからの農作業に向けての準備を整えています。

飛馬共防肥料配布

